

講義ユニット名	産婦人科		所属科目名	全身性疾患制御学
講義ユニット 責任者	くどう よしき 工藤 美樹	所属	産科婦人科 (内線 5260)	
		メール	yoshkudo@hiroshima-u.ac.jp	
講義ユニット コーディネーター	うらべ さとし 占部 智	所属	産科婦人科 (内線 2821)	
		メール	surabe@hiroshima-u.ac.jp	
授業方法	講義形式。パワーポイントを使用して、スライドを呈示しながら進める。あるいは配布資料に沿って説明しながら授業をすすめる。			
概要	産科学では女性の一生における大きなイベントである妊娠・出産についての正しい知識を習得し、妊娠・分娩時の異常を学ぶ必要がある。また、婦人科疾患については解剖、内分泌環境、腫瘍性病変等について学んでいく必要がある。講義を通して妊産婦や婦人科疾患の病態、診断、治療法などを理解することを目標とする。			
講義ユニットの 到達目標	<p>生殖腺の発生と性分化の過程を説明できる。</p> <p>女性生殖器の発育の過程を説明できる。</p> <p>女性生殖器の形態と機能を説明できる。</p> <p>性周期発現と排卵の機序を説明できる。</p> <p>月経異常の原因と病態を説明できる。</p> <p>月経異常を呈する患者の診断の要点を説明できる。</p> <p>基礎体温の所見を説明できる。</p> <p>血中ホルモン（FSH、LH、プロラクチン、hCG、エストロゲン、プロゲステロン）測定値を評価できる。</p> <p>膣分泌物の所見を説明できる。</p> <p>子宮頸部・内膜の細胞診と組織診の所見を概説できる。</p> <p>腫瘍マーカーの測定値の意味を説明できる。</p> <p>骨盤内臓器と腫瘍の画像診断（超音波断層法、CT、MRI、子宮卵管造影&lt;HSG&gt;所見を概説できる。</p> <p>不正性器出血、乳汁漏出症、膣分泌物（帯下）の増量、膣乾燥感、性交痛をきたす疾患を列挙し、その病態を説明できる。</p> <p>内外生殖器の先天異常を説明できる。</p> <p>卵巣機能障害を概説できる。</p> <p>不妊症の系統診断と治療を説明できる。</p> <p>子宮筋腫・子宮腺筋症の症候、診断と治療を概説できる。</p> <p>子宮内膜症の症候、診断と治療を説明できる。</p> <p>子宮頸癌、子宮体癌&lt;子宮内膜癌&gt;の症候、診断と治療を概説できる。</p> <p>卵巣腫瘍の分類と症候、診断と治療を概説できる。</p> <p>外陰、膣と骨盤内感染症の症候、診断と治療を説明できる。</p> <p>絨毛性疾患（胎状奇胎、絨毛癌）の診断、治療と管理を説明できる。</p> <p>妊娠の診断法を説明できる。</p> <p>妊娠に伴う身体的変化を概説できる。</p> <p>胎児・胎盤検査法（超音波検査、分娩監視装置による）の意義を説明できる。</p> <p>羊水検査法の意義と異常所見を説明できる。</p> <p>妊娠・分娩・産褥での母体の解剖学的と生理学的変化を説明できる。</p> <p>胎児・胎盤系の発達過程での機能・形態的变化を説明できる。</p> <p>正常妊娠の経過を説明できる。</p> <p>正常分娩の経過を説明できる。</p> <p>産褥の過程を説明できる。</p> <p>母子保健の意義を医学的に説明できる。</p> <p>主な異常妊娠（流産、切迫流産、子宮外妊娠&lt;異所性妊娠&gt;、妊娠高血圧症候群、多胎妊娠、骨盤位）の病態を説明できる。</p> <p>主な異常分娩（早産、微弱陣痛、遷延分娩、回旋異常、前置胎盤、癒着胎盤、常位胎盤早期剥離、弛緩出血、分娩外傷）の病態を説明できる。</p> <p>主な異常産褥（子宮復古不全、産褥熱、乳腺炎）の病態を説明できる。</p> <p>産科救急〔産科出血、播種性血管内凝固（DIC）〕の病態と治療を説明できる。</p>			

	<p>主な妊娠合併症（耐糖能異常、血小板減少症、甲状腺疾患）の病態を説明できる。  人工妊娠中絶の適応を説明できる。  帝王切開術の適応を説明できる。  鉗子・吸引分娩術の適応を説明できる。  骨盤位牽出術の方法と合併症を説明できる。  母子感染を概説できる。  性行為感染症を概説できる。</p>
講義日程	別紙日程表を参照のこと
出席の取り扱い	出席状況把握システムにて毎講義出席をとる。 3分の2以上の出席がない場合は試験（本試験、追試験とも）の受験資格を与えない。
評価項目	到達目標の達成度 （基本的理解と知識の応用）
評価法	試験（MCQ形式と記述形式の併用にて試験を行う（配点 MCQ 80点、記述 20点）。 本試験における合格基準は60点とする。
推奨参考書	<p><b>【購入を推奨する参考書】</b>  標準産科婦人科学 編集：岡井崇／綾部琢哉 医学書院</p>